



基本CG10枚

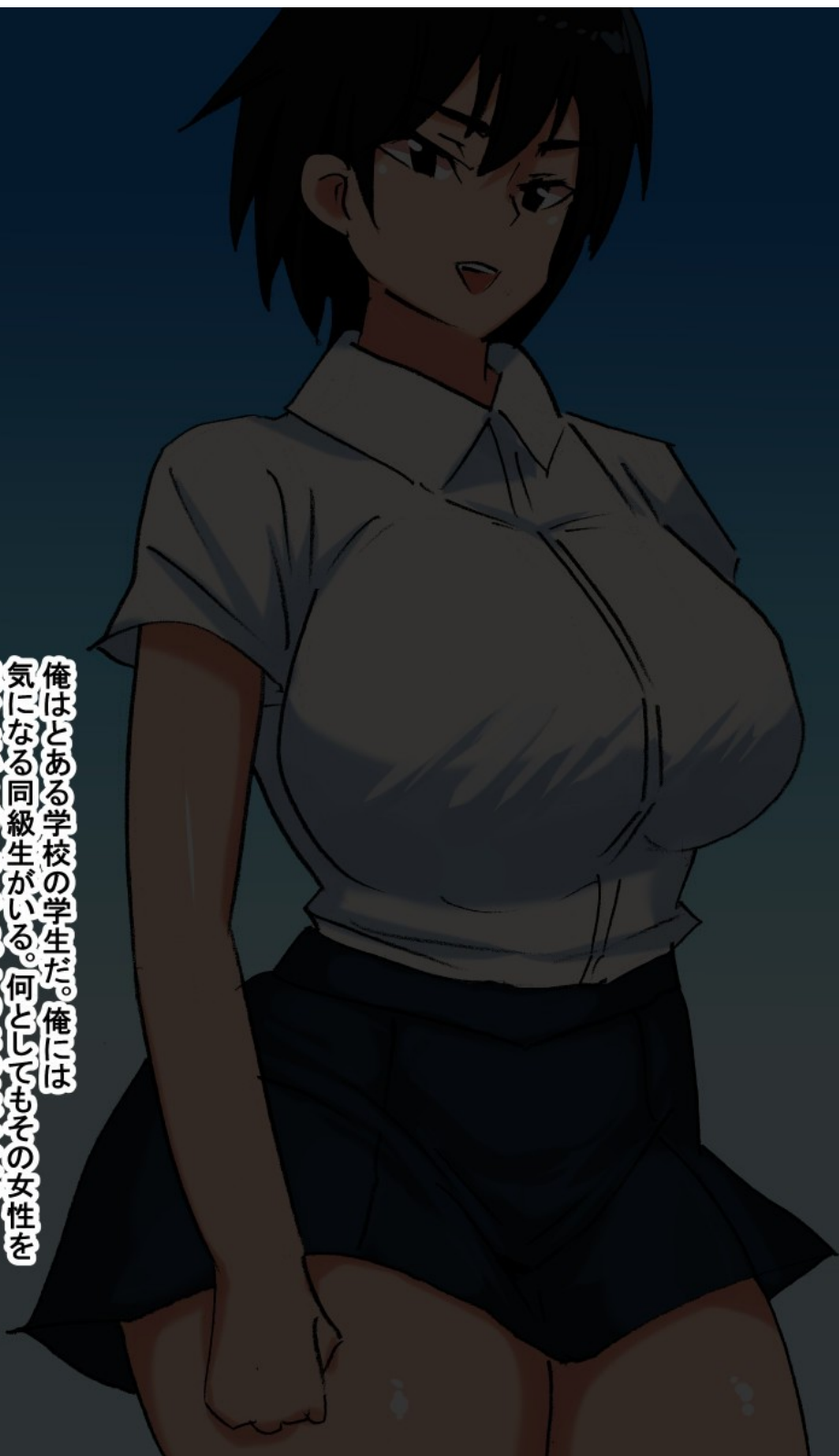
差分12枚

睡眠姦の話のCG集。

jn

睡眠姦の話。

俺はとある学校の学生だ。俺には
気になる同級生がいる。何としてもその女性を
抱きたいと考えている。そのために、







「おう！おはよう！」
彼女は〇〇さん。バレー部に所属しているボーイッシュな同級生だ。
俺は彼女にあこがれている。彼女のムチムチでいやらしい体、
鍛えられた体、、、抱きたい、犯したい、、、
俺はいつもそんなことを考えてしまっている、、、



今日は彼女は部活が休みということで、俺の家で遊ぶことになった。
そこで俺は彼女を犯すことを密かに決意した、ン、ン。





「いやー、本当に部活ばっかりの毎日だからなあ。ゲームなんて
久々だよ。」
○○さんはとても楽しそうにゲームをしていた。俺は夢中になっている彼女の
隙について睡眠薬を飲み物に混ぜた、、、、。





「う、ん、。」
「○○さんどうしたの？」
「うん、いや、ちよつと眠くなつてな、。」
「横になつたら？」
「そうだな、。悪いけどちよつと眠らせてくれ、。」
「そう言つて○○さんはベッドに横たわつた。」







「すー、すー。。。」「
「○○さん、本当に寝たの?」
返事がない。どうやら○○さんは本当に眠ってしまったようだ。」「
「はあ、はあ。。。○○さん。。。」「
俺は○○さんを抱くチャンスを手に入れた。。。」





「はあ、はあ、。○○さんの
胸、でかくてやわらかい、。」
俺はひたすら○○さんの胸を
揉みしだいた、。。
「はあはあ、。気持ちいい、。」





「ん、♡はあ、♡」
「はあ、はあ、○○さんのアソコ、
美味しい、もっとむしゃぶりつきたい、」
○○さんのアソコはとてもしゃべりいい匂いが
していい味がした、俺はひたすら○○さんの
アソコをむしゃぶり続けた、





「はあ、はあ、。ねえ、○○さん。○○さんのアソコに入れていい？」
俺は○○さんのアソコに擦り付けた、。
寝てるのを知りつつ○○さんに尋ねた、。
「ねえ、○○さん。入れていい？返事がないと入れちゃうよ。」
当然返事はない。俺は憧れの○○さんのアソコの中に挿入した、。
じ





「んっ♡あっ♡あん♡」
「ああ、き、気持ちいい、い、い。」
俺は○○さんのアソコにひたすら腰を打ち付けた、。
「はあ、はあ、。○○さん、○○さん、。」
「ん♡あ♡あんっ♡」
「ああ、で、出る……！」



「ぐぐぐ!!!」



「ん、♡はあ、♡」
「はあ、はあ、○○さん、気持ちよかったよ。」
「俺は何回も○○さんのアソコに中出ししてしまった。」
「○○さん、またさせてね。」
「そうやって、俺は○○さんの体を綺麗にして元に戻した。」



この度は当作品をご購入くださり、ありがとうございます。

睡眠姦の話です。全6作品を公開しました。ここまでお付き合いいただきありがとうございます。

余談ですが、リクエストの受付を開始してみました。ブログのリクエストというページから詳細をご確認ください。(全てのリクエストにお応えすることは困難であることをご了承ください。)

睡眠姦関連作品(公開予定含)
ep eq er es ji jj j05 jl jm jn

当サークルホームページ等専用のページを開設致しました。
これらにおいても創作活動を行っておりますので、
よろしければご確認ください。

Blog:<https://sssss.fc2.xxx/>

Pixiv:<https://www.pixiv.net/users/46460147>

Ci-en:<https://ci-en.net/creator/4749>

Fantia:<https://fantia.jp/fanclubs/27877>

※当サークルの作品は全てフィクションです。実際に行うと法律によって処罰される可能性があります。

※当サークルの全作品の無断転載(購入されてない方が閲覧できるようにする)等の行為はご遠慮願います。ご協力の程、よろしくお願いします。